

「道徳的諸価値についての理解」

を重点とした道徳科の授業づくり

第5学年 道徳科学習指導案

- 1 主題名「理解し合う心」（内容項目：B-9 友情、信頼）
- 2 教材名「心のレシーブ」（出典「新訂 新しい道徳5」東京書籍）
- 3 主題設定の理由

高学年では、これまで以上に友達との結びつきが強くなり、友達との関係を深めていこうとするようになる。また、趣味や趣向の合う友達と過ごすことを好むような傾向が見られ、閉鎖的な仲間集団を作るようになる。そのため、疎外されたように感じたり友達関係で悩んだりすることが見られるようになる。しかし、望ましい人間関係は、互いの良さを認め、理解し合うところから始まる。そこから、互いに力を出し合ったり欠点を補い合ったりすることで協力関係が生まれてくる。本時の学習を通して、趣味や趣向、親しいか親しくないか、同性か異性かに関わらず、互いを理解し合い良さを認め合いながらより良い人間関係を築いていこうとする心情を育てることをねらいとする。

児童はこれまでに、国語科の読むこと教材である「なまえつけてよ」の中で、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることの学習を通して異性との友情について考えてきた。また、体育科の「体づくり」や「マット運動」、「鉄棒」の学習において友達の良いところを伝え合ったり、助言し合ったりすることを通して、友達の良さや頑張りに目を向けられるようになってきた。さらに、7月に行われた宿泊学習を通して、互いに理解し合うことや協力し合うことの大切さについて学んできた。その結果、本学級の児童は、友達と一緒に学習したり活動したりすることを誰とでも行うことができおり、友達が困っている時には声をかけたり手伝ったりする児童も多くいる。一方で、趣味や趣向の合う友達と一緒にの班やグループになることを望む声が聞こえてくる。また、係活動や清掃活動に役割を分担して取り組むことはできても自発的に協力し合おうとすることは少ない。

本資料は、「バレーボールが得意な「陽子」が、同じチームの良夫と直希がスポーツ大会に前向きではない様子に不満をもっていった。しかし、彼らが真剣に練習に取り組んでいたことを知り、それまでに一方的な見方をしていたことに気付く。その出来事を通して、大会に向けてチームの心が一つになる。」という内容である。彼らに対する「陽子」の気持ちの変化を考えることや、自分がチームの一員だったら、誰にどんな言葉をかけるのかを考えることを通して、よりよい人間関係を築くために大切なことについて考えられるようにしたい。

4 本時のねらい

友達と互いに理解し合い、良さを認め合いながら人間関係を築いていこうとする道徳的心情を育てる。

5 本授業のポイント

- ① 「自分もチームの一員だったら」を考えることで、教材文を自分との関わりで考えられるようにする。
- ② 展開の前半と後半を関連付けて考えられるような発問をする。
- ③ 友達との議論を通して多様な考え方に触れ、見方や考え方を広げることができるようにする。

6 本時の展開

	学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の発言	□留意点 ◇評価の観点
導 入	<p>1 「心のサーブ」に書かれていることをいくつか取り上げ、本時の学習への方向付けを行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>よりよい人間関係を築くために大切なことは何かを考えよう。</p> </div>	<p>□ 「心のサーブ」は予めPadletに入力しておく。</p>
展 開	<p>2 教材文「心のレシーブ」を読んで考える。</p> <p>○ 「良夫さんだっがんばっているじゃないか。」という直希の言葉を聞いて、陽子はどんなことを考えたでしょう。【人間理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・頑張っているのは分かるけど、失敗ばかりで腹が立つ。 ・もっと練習してほしい。 ・良夫さんに言い過ぎたかな。 ・明日、謝った方がいいかな。 <p>○ あなたがこのチームにいたら、チームが1つにまとまるようにするために、どの場面で誰にどんな声をかけますか。【価値理解】【他者理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①の場面で、良夫さんに「一緒に練習しよう」と声をかける。 ・①の場面で、陽子さんに「良夫さんも頑張っているんだよ。でも、陽子さんの気持ち分かるよ。」と声をかける。 ・②の場面で、みんなに「みんな成長しているし、きっと6年生にも勝てるよ。」と声をかける。 <p>3 自分自身について振り返る</p> <p>○ 友達との関わりの中で、上手くいかなかった経験はありますか。</p>	<p>□ 範読の後、スライドを提示しながら話の内容を振り返ることで「陽子」の心情の変化を捉えられるようにする。</p> <p>□ 場面は以下の2つを提示する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①「良夫さんだっがんばっているじゃないか。」と直希が陽子に言った時 ②練習試合の後のミーティングの時 <p>□ ポートフォリオノートに記入させる。</p> <p>□ ポートフォリオに記入した後、児童同士で自由交流をする。</p> <p>□ その時の状況（かけた言葉や自分の行動）を問い返すこ</p>

	<p>○ よりよい人間関係を築くために大切なことは何だと思えますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協力すること。 ・頑張っていることやよいところを見つけて、認め合うこと。 ・男女関係なく、みんなで一緒にやろうという気持ち。 ・声をかけあって助け合うこと。 	<p>とで、どうすればよりよい関係を築けたのかを考えられるようにする。</p> <p>□ 個人思考の後、グループで話合いや全体での交流を通して他の考え方にも触れさせる。</p> <p>□ ポートフォリオノートに記入させる。</p> <p>◇ 班やグループ、集団で活動するときには何が大切なのかを友達との関わりの中で考えることができたか。</p>
<p>終末</p>	<p>○ 班で「心のサーブ」を送り合う。</p> <p>○ 本時の学習の振り返りをする</p> <p>ア 今日の授業では、発言や発表ができましたか。</p> <p>イ 友達の意見を聞いて友達のよいところを見つけることができたか。</p> <p>ウ 自分を振り返り、「自分ならどうするか」といっし ようけんめい考えましたか。</p>	<p>□ 予め Padlet にメッセージを入力しておく。また、「展開」で話し合ったことや全体交流したことを踏まえて、加筆修正を行う。</p> <p>□ ポートフォリオノートの「ふりかえり」の項目を基に本時の学習を振り返らせる。</p>